

石川・能登震度7 死者55人

M7.6 一時大津波警報 輪島で1.2メートル

朝市200棟焼失 家屋流失も

1日午後4時10分ごろ、石川県志賀町で震度7の地震があり、北海道から九州にかけ広い範囲で揺れを観測した。建物の倒壊や火災が相次ぎ、石川県で55人が死亡したほか、各地で多数

のけが人が出た。気象庁は石川県能登地方に一時、大津波警報を発表、輪島港では1・2以上の津波を観測。珠洲市などの沿岸部で住宅被害が出た。

石川県によると、死亡し

たのは輪島市24人、珠洲市20人など。泉谷満寿裕・珠洲市長は県の対策会議で「9割方の家屋が全壊やほぼ全壊という状況で、壊滅的な被害だ」と述べた。輪島市の観光名所「輪島朝市」周辺では大規模な火災があり、約200棟が燃えた。同市でビル倒壊もあった。

津波は地震発生直後から日本海側の広い範囲で観測された。気象庁は2日午前、津波注意報を全て解除。共同通信が航空機で上空から確認したところ、珠洲市や能登町の沿岸に多数の家屋が流されたとみられる形跡があった。

東北では山形県に津波警報、青森、秋田両県に津波

注意報が発表され、酒田市で1日午後7時8分に80センチの津波を観測した。

気象庁は「令和6年能登半島地震」と命名。震源は輪島市の東北東30キロ付近で、深さは暫定値で16キロ。地震は逆断層型で、規模はマグニチュード(M)7・6と推定される。国内で震度7は2018年の北海道地震以来。大津波警報が発表されたのは11年の東日本大震災以来となる。

政府は2日、非常災害対策本部(本部長・岸田文雄首相)の会合を官邸で開いた。林芳正官房長官は、午前11時時点で石川、新潟両県などの避難者は計5万7360人と明らかにした。



地震で倒壊した建物。2日午前11時ごろ、石川県輪島市

